

## 第5節 デイン・カムフォー第3トレンチ (DINH CAM PHO-3)

デイン・カムフォー第3トレンチの調査は菊池が担当し、1995年に実施した。トレンチをデインの正門前、グエンティミンカイ通りの北に面するところに設定した。なお、調査中、中京テレビによる撮影がおこなわれた。

### 1 調査日誌

- 7月7日 事務所で発掘の打合せ。午後、2m×3mのトレンチの設定し、発掘開始。
- 7月8日 攪乱が激しい。銃弾が集中している部分がある。住民の話では、1954年のフランス軍の武装解除にともなって廃棄されたもの、という。また、トレンチの北側部分でデイン・カムフォーにともなう、レンガ敷を検出。
- 7月9日 ピットを検出。ピットのひとつ（4号ピット）に貝殻が多数混入。
- 7月10日 写真撮影。
- 7月11日 遺物の取りあげ。土層図の作成。全体測量。

### 2 土層

南壁と東壁の二面の土層図を作成した。上層図のうち、I層からIV層までは、1954年以降の新しい整地層である。V層には銃弾や車輛の廃材などが投棄されており、これは1954年のフランス軍の武装解除にともなうゴミ穴の可能性がある。

### 3 遺構（図63、写真図版7）

検出した遺構は下記のとおりである。

**レンガ敷遺構：**トレンチの北側部分で表土直下に検出されたL字形の遺構である。レンガを3段に重ね、各レンガ間をコンクリートで固めている。各レンガの大きさは、長径約28cm×短径約15cm、厚さ3.5～4cmである。このレンガを3段に重ねた厚さは約18cmである。このレンガ基礎の下には白砂層が3cmあり、整地層になっている。この遺構は、デイン・カムフォーの境界に関係するものか、あるいは門の基礎の可能性が考えられる。遺構の年代は、コンクリートが使用されていることもあり、20世紀前半代と思われる。

**1号ピット（ゴミ穴）：**上幅で約120cm、底径約50cmである。ゴミ穴から多数の銃弾や鉄片などが出土した。年代は1954年頃と思われる。

**2号ピット：**径15cm×15cmではほぼ方形を呈する。確認面（X層）からの深さは、約7cmである。覆土は褐色土（10YR4/6）で、炭化物を含み、粘性がある。このピットの用途や年代は不明である。

**3号ピット：**径約15cmで円形を呈する。確認面（X層）からの深さは、約5cmである。覆土は黄褐色土（2.5YR5/4）で、砂質で粘性がややあり、軟らかい。このピットの用途や年代は不明である。

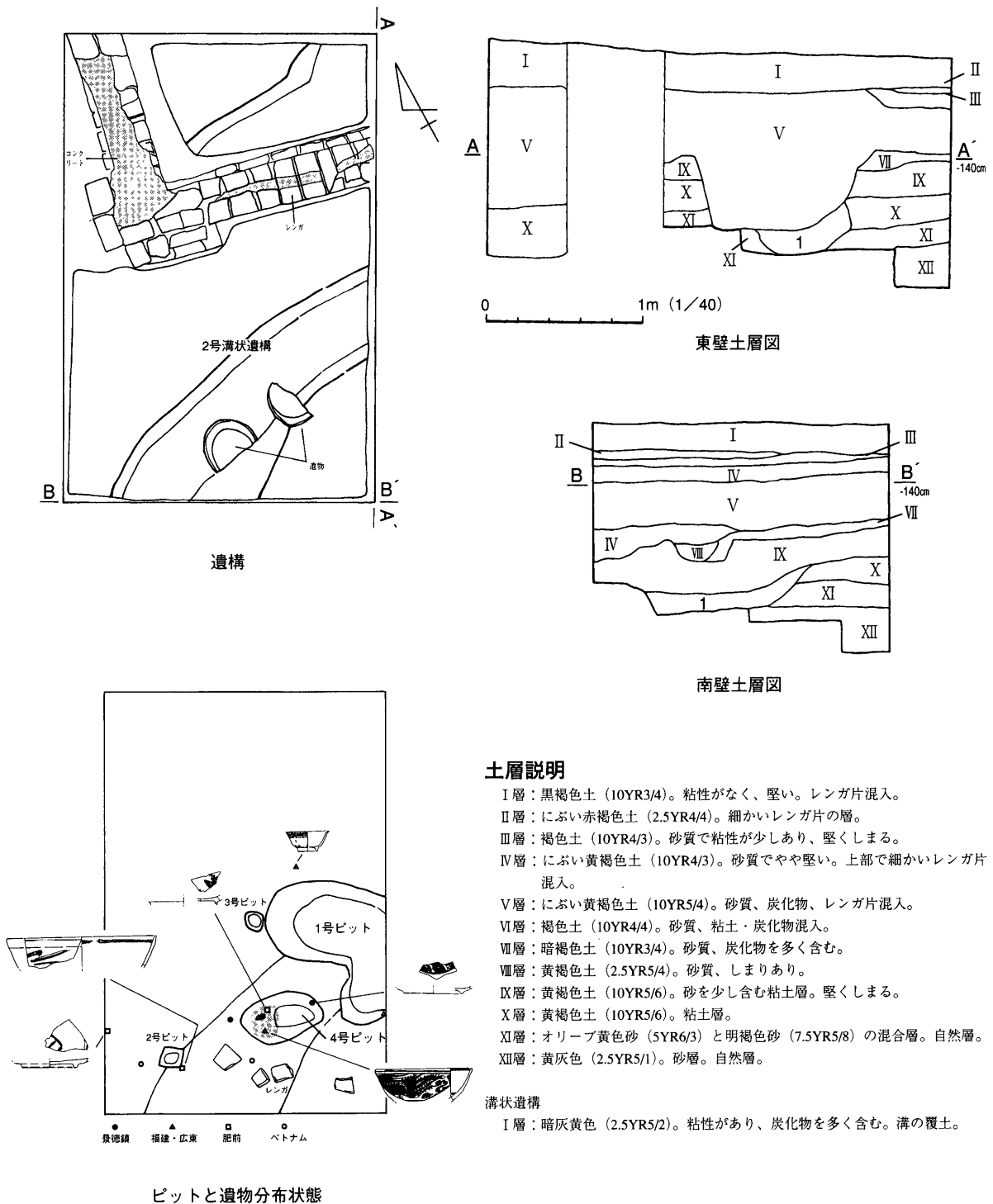


図63 デイン・カムフォー地点第3トレンチ

4号ピット（貝ピット）：長径約60cm、短径約30cmの長楕円形を呈する。溝状遺構の覆土内を掘りこみ、確認面からの深さは約12cmである。覆土はオリブ褐色 (2.5YR4/6) で、炭化物小片や砂、黄褐色粘土を含む。また、貝殻 (Oc Chia Voi、海産貝) を多数含み、この貝殻には食した痕跡が認められた。陶磁器の小片も出土しており、年代は17世紀代と思われる。

2号溝状遺構：確認面はX層である。トレンチの東側部分はゴミ穴のため、これによって壊されている。南壁の断面では、溝の上幅が約90cm、下幅が約40cmである。覆土は黄褐色 (2.5YR5/4) で炭化物を含み、粘

性が非常にある。この溝状遺構から若干の遺物が出土している。この溝状遺構の年代は17世紀代と思われる。

(菊池誠一)

#### 4 遺物 (図64～66、表19、写真図版18)

出土遺物は、中国製陶磁器214点(破片、以下同)、日本製磁器16点、ベトナム製陶磁器236点・レンガ8点・瓦6点、東南アジア製陶器1点、ガラス製品、弾丸、巻き貝、鉄製品、獣歯等である。

中国製品は景德鎮窯、福建・広東窯系の染付(青花)がほとんどの割合を占める。生産年代は16世紀後半から19世紀代までで、17世紀後半から18世紀代のものが中心となる。日本製品はすべて肥前窯系の磁器で、生産年代は1650年代から1680年代である。ベトナム製品は陶器がほとんどの割合を占める。報告するにあたって生産地と生産年代別に代表的な物を合計45点図化した。

1～6は景德鎮窯系の染付で、いずれも畳付が釉剥ぎされている。1～4は17世紀前半から18世紀中頃の碗・鉢類である。1は高台がやや内向する。2は高台内に砂粒が付着している。4は高台内に双魚文が描かれている。5・6は17世紀前半から中頃の皿である。5は高台内に砂粒が付着している。

7は景德鎮窯系と思われる青磁で、19世紀代の小碗である。同一個体と思われる底部片の高台内は透明釉が掛分けられ、呉須で銘を描く。

8～18は福建・広東窯系の染付である。8・9は17世紀後半から18世紀代の福建窯系の碗で、畳付が釉剥ぎされている。9は高台内に「萬全」と思われる銘を描く。10・11は17世紀末から18世紀代の福建窯系と思われる碗で、畳付が釉剥ぎされている。10はやや白濁した明緑灰色(10GY8/1)の釉が厚くかり、高台は波状に釉剥ぎされている。高台内に銘を描く。12は18世紀代から19世紀初めの福建窯系の皿で、畳付が釉剥ぎされている。13は18世紀代の徳化窯系の小杯で、口唇部が釉剥ぎされている。形打ち成形で口縁部がやや外反する。畳付にはガラス状粒子が付着している。高台内に銘を描く。14～17は17世紀前半から18世紀代の碗である。14は外側文様の濃い部分が極暗赤褐色(5YR2/4)を呈する。畳付にはガラス状粒子が付着している。15は印青花で見込みのほとんどが円形に釉剥ぎされている。16・17は見込みが蛇の目釉剥ぎされている。17は高台内に砂粒が付着している。18は18世紀から19世紀前半の散蓮華である。

19は徳化窯系と思われる白磁で、18世紀代の散蓮華である。

20は中国南部産と思われる白磁で、17世紀代の安平壺と呼ばれるものである。

21は中国南部産の緑釉陶器で16世紀末から17世紀前半の皿である。口縁部は折り縁で菱花形を呈している。

22～27は肥前窯系の磁器である。22は1660年代から1680年代の荒磯文碗で畳付が釉剥ぎされている。高台内には靨痕がみられる。23は1660年代から1680年代の鉢である。24・25は1650年代から1670年代の皿である。24は日の字鳳凰文皿で畳付が釉剥ぎされている。高台内は部分的に砂粒が付着している。26は1660年代から1680年代の瓶で、内面は施釉されていない。27は1660年代から1680年代の荒磯文碗片の胴部を再利用した円盤で、打ち欠いて円形にしている。

28はベトナム産の磁器で、型紙を用いて施文している。細かい貫入がはいる。

29～36はベトナム産の陶器である。ロクロを用いて成形しており、内面に残るロクロ目からロクロは時計回りである。29は大型瓶で底部に製作時についた指頭痕が多数見られる。内側面にはロクロ目が残る。底部の縁から1cm程の所に熔着痕がめぐっている。これは他の容器の上に重ねて窯詰めしたためと考えられる。30は広口壺で内面にはロクロ目が残る。肩部で色調が灰色から黒褐色に変化する。これは窯道具のサヤで蓋をして焼成したためと考えられる。胴部の一部に自然釉がかかっている。31は線条文鉢である。32は大型鉢で胴部に2条の平行波状文が1本櫛描きされている。口縁部で色調が変化する。これは窯詰め状態による

ものと考えられる。33は蓋でつまみ部に整形時についた指頭痕が多数見られる。34・35は長胴瓶片の胴部を再利用した円盤で、打ち欠いて円形にしている。用途は遊戯具と思われる。36は施釉陶器で石灰壺の取手である。側面の両面に篋描き文様がある。内面は施釉されていない。

37はガラスの小瓶で継手が2ヶ所に入る。胴部には「二天堂」銘がある。有機質と思われる栓と内容物が若干残存する。二天堂は中国広東省の薬屋でその看板は現在でもホイアンの古い商家の軒先にかかっている。この小瓶は現在の当主の祖父の代から1945年まで取り扱っていた商品で中国人が好んでこめかみや鼻の下に塗る薬である。

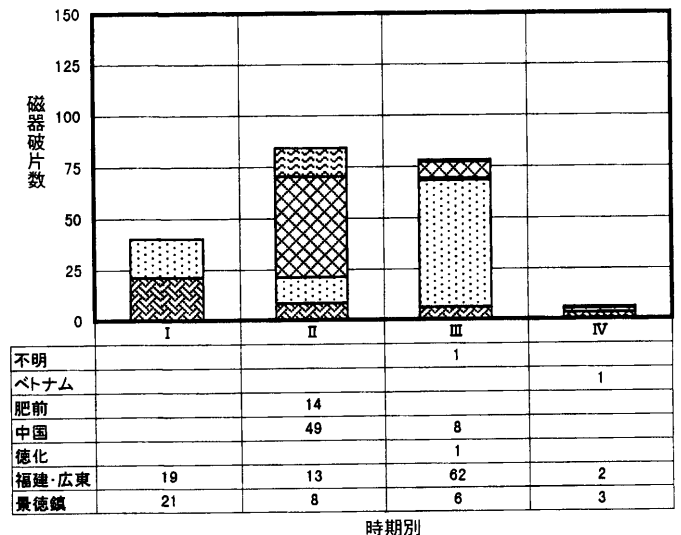
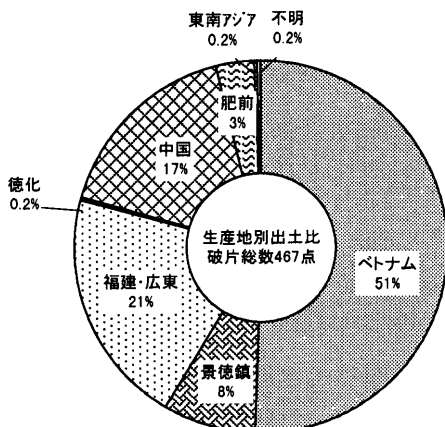
38は弾丸である。産地は不明であるが、19世紀以降のものと思われる。39は瓦で、背の部分刻印があるが一部が欠けているため文様は不明。40～44はレンガで43を除いて片面に離れ砂と思われる細砂粒が付着している。41は細砂粒が付着しない側の面に一方向に走る擦痕がある。45は東南アジア産の陶器で16世紀後半から17世紀前半のクンディである。

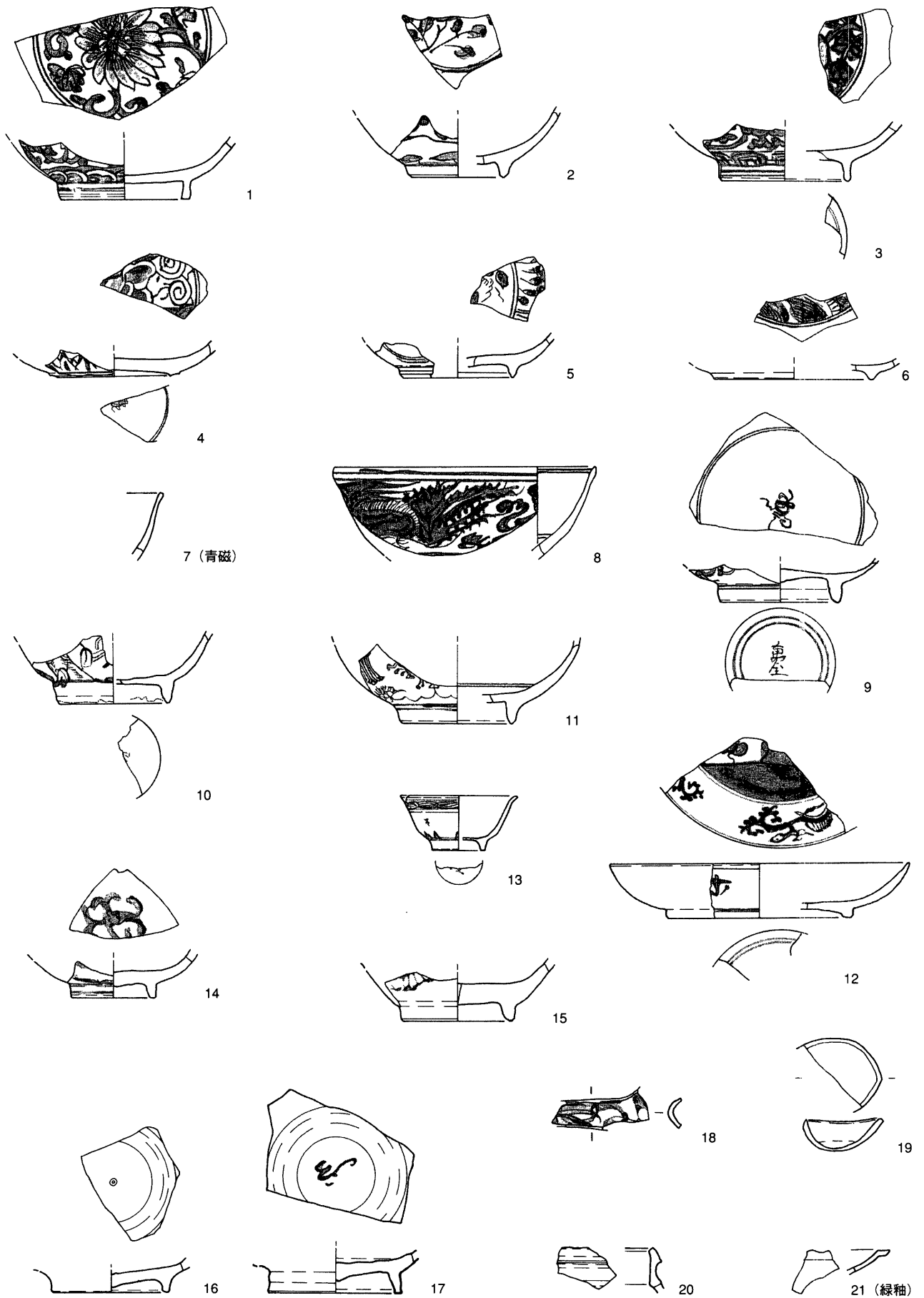
### 5 生産地別・時期別組成

出土した陶磁器の総破片数は467点である。この生産地別比を円グラフにした左下図と、磁器だけの破片数を生産地別・時期別に棒グラフにしたものが右下図である。時期別のグラフは、I期を16世紀末から17世紀前半、II期を17世紀後半、III期を17世紀後半から18世紀前半、IV期を18世紀後半以降として設定した。

その結果I期では景德鎮窯系と福建・広東窯系がほぼ同数であるが、III期になると福建・広東窯系が多くなることが認められる。また、肥前磁器はII期のみの出土である。

(阿部百里子)





0 10cm (1/3)

図64 中国陶磁器 (Trung Quoc)

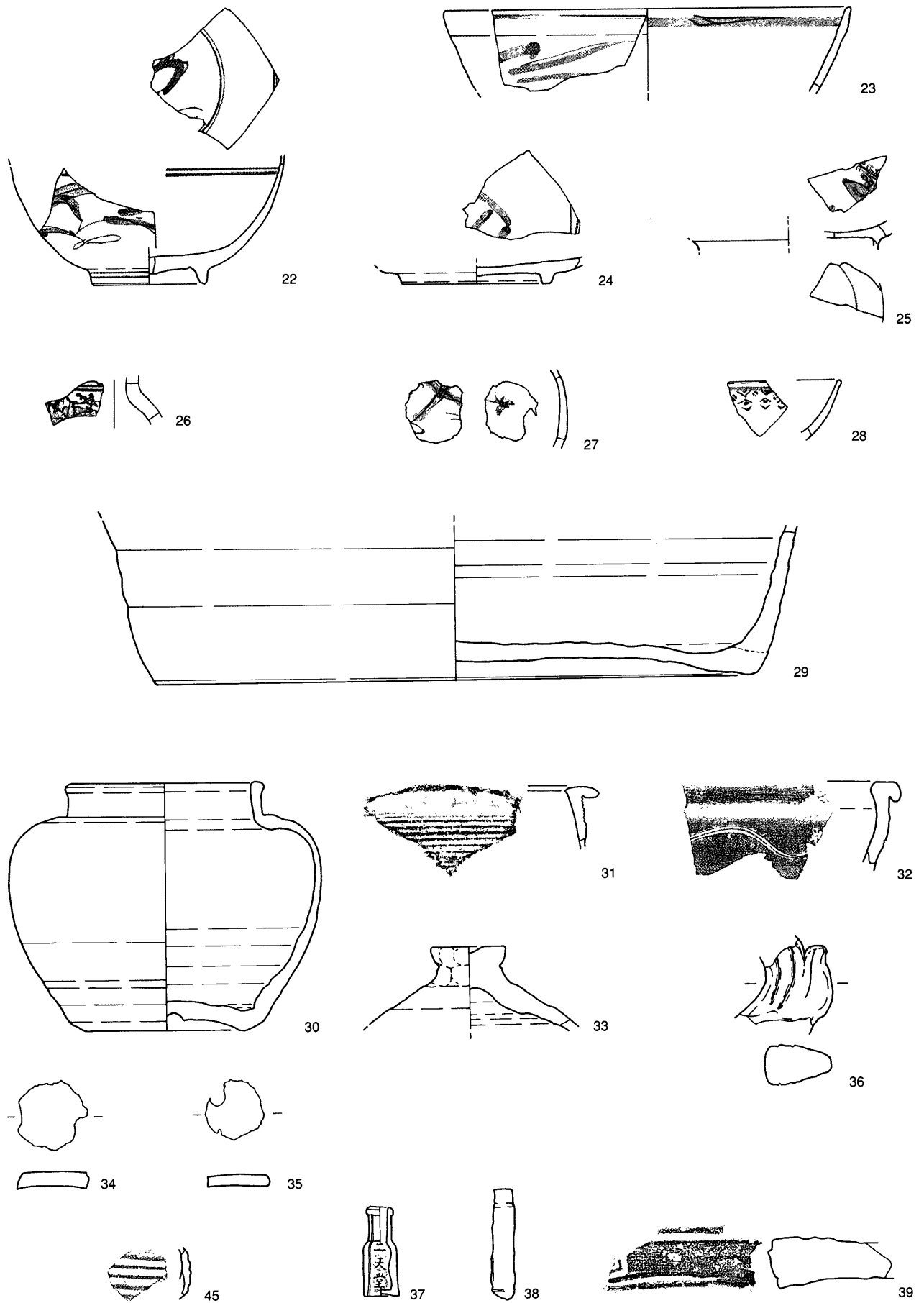
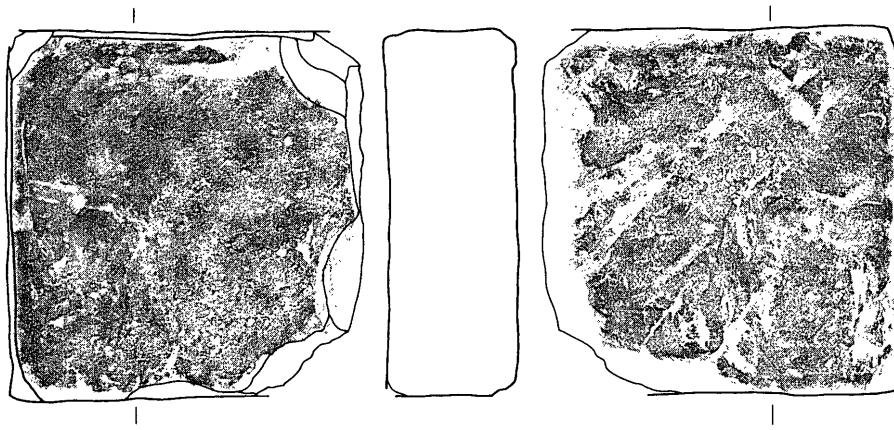
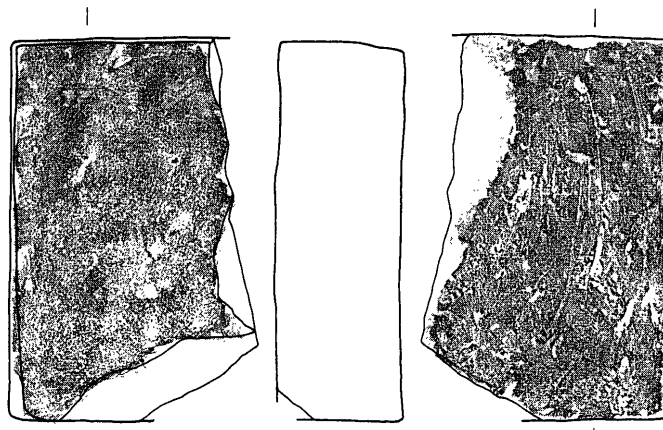


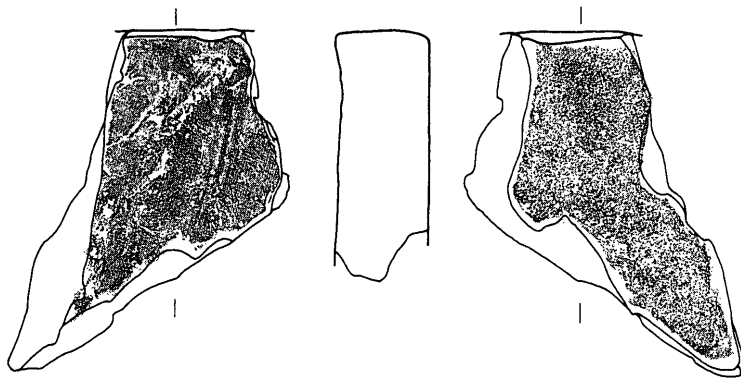
図65 肥前 (Hizen No.22~27) ほか



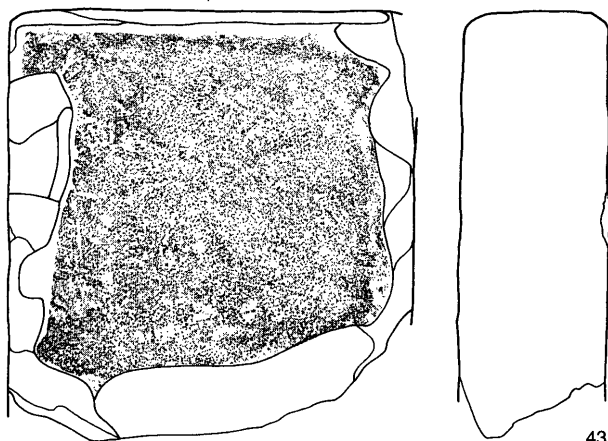
40



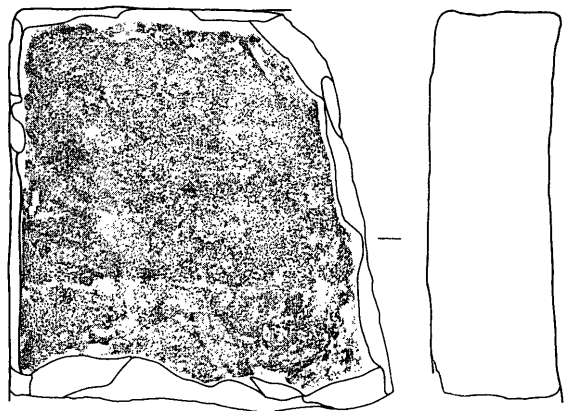
41



42



43



44

0 10cm (1/3)

図66 レンガ片

第5章 ホイアン旧市街地の発掘調査

No.	産地	器種	外側	見込み	内側	高台内	年代	釉調	焼成	化粧	付着物	a	b	c	d	残存	備考
001	景德鎮	染付碗	花唐草文・蓮弁文	菊唐草文		施釉	17c前半	薄青	良好	□				7.2		1/5	
002	景德鎮	染付碗	文様有	草花文		施釉	17c代	明緑灰 高台内灰白	良好	□	砂粒			5.4		1/8	
003	景德鎮	染付鉢	蓮弁文・花唐草文	花唐草文		施釉	17c後半 ~18c初め	薄青	良好	□				7.2		1/6	
004	景德鎮	染付碗	蓮弁文	花唐草文		施釉 双魚文	17c末~ 18c中頃	薄青	良好	□				7.1		底部片	
005	景德鎮	染付皿	文様有	文様有		施釉	17c前半	薄青	良好	□	砂粒			5.4		底部片	
006	景德鎮	染付皿		文様有		施釉	17c前半 ~中頃	薄青	良好	□				8.6		1/10	
007	景德鎮?	青磁小碗					18c代	明緑灰	良好	□						口縁1/7	かき分け?
008	福建	染付碗	鳳凰文		圏線		17c後半 ~18c代	呉須暗	良好	□		14.3				1/4	
009	福建	染付碗	龍文	宝文		施釉 「萬全」	18c代	薄青	良好	□				6.7		1/4	
010	福建?	染付碗	文様有	文様有		施釉 銘	17c末~ 18c代	明緑灰	良好	□				6.2		1/7	
011	福建?	染付碗	文様有	文様有		施釉	17c末~ 18c代	明青灰 呉須薄	良好	□				6.4		1/7	
012	福建	染付皿	文様有	文様有	龍文	施釉 圏線	18c代~ 19c初め	貫入有	良好	□		16.4	3.0	10.0		1/4	
013	徳化	染付小坏	蓮弁文 文様帯	口縁		施釉 銘	18c代		良好	□	ガラス状 粒子	6.4	3.0	2.8		1/3	口ハゲ
014	福建・ 広東	染付碗	文様有	花文		施釉	17c前半	灰白 呉須暗 オリープ灰・ 一部極暗赤褐色	良好	□	ガラス状 粒子			4.6		1/5	
015	福建・ 広東	染付碗	印青花	円く釉剥		無釉	17c末~ 18c代	灰白 呉須オリープ灰	良好	□				6.2		1/8	露胎部浅黄色
016	福建・ 広東	染付碗	文様有	円く無釉		施釉	17c後半 ~18c前半	薄青	良好	□				6.4		1/8	
017	福建・ 広東	染付碗		文様有 蛇の 目釉剥ぎ		施有	18c代	薄青	良好	□	砂粒			7.3		1/5	
018	福建・ 広東	染付散 蓮華			唐草文		18c代~ 19c前半	薄青 呉須オリープ 黒	良好	□						1/3	
019	徳化?	白磁散 蓮華					18c代	灰白	良好	□						1/4	型作り
020	中国	白磁安 平壺					17c代	白	良好	□							口縁部片
022	肥前	染付碗	龍文	荒磯文?	圏線	施釉	1660~ 1680年代		良好	□	靱殻痕			6.2		1/4	
023	肥前	染付鉢	龍文?鳳凰文?		圏線		1660~ 1680年代	灰白	不良	□		22.2				口縁部 1/8	
024	肥前	染付皿		日の字		施釉	1650年代	薄青 呉須薄	良好	□	一部砂粒			8.2		底部1/4	
025	肥前	染付皿		文様有		施釉 圏線	1650~ 1670年代	薄青	良好	□						底部片	
026	肥前・ 有田	染付瓶	牡丹唐草文				1660~ 1680年代	薄青	普通	□						胴部片	
027	肥前	染付円盤	龍文?		魚文		1660~ 1680年代	薄青 呉須薄	良好	□		3.5				胴部片	胴部のみ再利用?
028	ベトナム	染付碗	型紙摺				19c後半 ~20c代	淡黄 貫入有	普通	□						口縁部片	

No.	産地	種類	分類	文様	胎土色	色調内外	胎土	焼成	a	b	c	d	残存	備考
021	華南	皿		口縁部 菱花形	浅黄橙10YR8/4	緑釉	普通	普通					口縁部片	全面施釉(緑釉) 16c末 ~17c前の製品
029	ベトナム	大形容器			灰赤7.5R4/2と明 褐灰7.5YR7/1の 層状	外: 褐7.5YR4/3 内: 灰赤7.5R4/2	精緻	良好			33.1		底部片	底部に重ね焼き痕附着
030	ベトナム	広口壺			赤褐10R4/4	外: 黒褐10YR3/1 内: 灰N4/	普通 砂粒少含	良好	13.5	10.8	8.8	17.1	1/3	肩部に色調変化有り 外 側面の一部に自然釉附着
031	ベトナム	線条文鉢			浅黄橙7.5YR8/6	浅黄橙7.5YR8/6	粗 砂粒多含	普通					口縁部片	口縁部に色調変化有
032	ベトナム	大形鉢		波状文		外: 鈍赤褐 2.5YR4/3 内: 鈍赤橙10R6/6	精緻	良好					口縁部片	口縁部に色調変化有
033	ベトナム	蓋			赤褐10R4/4	外: 褐灰7.5YR4/1 内: 赤褐10R5/4	普通	良好	4.1				つまみ部	
034	ベトナム	陶製円盤			明褐灰7.5YR7/1	外: 灰褐7.5YR6/2 内: 明褐灰 7.5YR7/2	精緻	良好	3.4				完形	長胴瓶片の再利用
035	ベトナム	陶製円盤			暗赤褐10R3/3	外: 黒褐5YR3/1 内: 赤褐10R4/4	精緻	良好	3.9				完形	長胴瓶片の再利用
036	ベトナム	石灰壺		簡描文	灰色10Y5/1	外: 暗赤灰釉 2.5YR3/2 内: 鈍赤灰 2.5YR4/4	普通 砂粒含	良好					把手部片	外側面施釉されていたが 殆ど剥がれている
039	ベトナム	瓦		文様有	橙		小石多含	普通			2.8			表面摩耗
040	ベトナム	レンガ			橙		普通	普通	14.9		6.0			
041	ベトナム	レンガ			明赤褐色		ラテライト・小砂粒 含	普通	15.0		5.0			擦痕あり
042	ベトナム	レンガ			赤と灰白のマー ブル状		普通 ラテライト含	普通			3.6			表面砂附着
043	ベトナム	レンガ			橙		ラテライト粒・小砂 粒含	普通	14.5		5.2			表面小砂粒多含
044	ベトナム	レンガ			橙		小砂粒多含	普通			5.0			表面細砂粒附着
046	東南ア ジア	クンディ ア		しのぎ 文	灰白2.5Y8/2	外: 黒N1.5/ 内: 灰白2.5Y8/2	粗	普通					破片	16c後~17c前の製品

No.	製品	材質	a	b	c	d	特徴	残存	備考
037	小瓶	ガラス	1.5	5.0	1.9		薄青 気泡多含	完形	「二天堂」の銘有
038	銃弾	金属	1.3	6.1				ほぼ完形	先端部錆びる

表19 遺物観察表